

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ
トゥー・ミー

To Me

2

Feb 2022
Vol.321



【ときめき人】

柳 渕雄亮さん

【主な記事】

127年とこれからも

【今月の表紙】

豊里こども園防犯教室

(関連記事 8 ページ)





新しく建て替えられた新田駅

127年とこれからも

—新田新駅舎が完成—

建設から127年を迎えた新田駅が令和3年12月26日、新駅舎として生まれ変わりました。

今号では新駅舎に込められた思いと旧駅舎での歴史を紹介します。



1894(明治27)年、開業当初の新田駅



■新田駅のホームから見える田園風景



JR東日本仙台支社
仙台建築技術センター

西島 悠介さん(27)

設立から127年 地域に愛された旧駅舎

JR東日本は12月26日、建て替え工事をしてきた東北本線新田駅の利用を開始しました。1894(明治27)年に建設され、改築を重ねながら127年間という長い歲月、地域住民や多くの利用者たちに愛されてきた旧駅舎。昨年6月の建て替え開始時点ではJR東日本仙台支社が管理する駅舎の中で、最も古い駅舎でした。

新田駅は当初、瀬峰・石越間に停車場新設を願う地域住民の請願が結実して設置されました。その後、駅を中心に道路や街並みの整備が進み、1940年頃には駅周辺に商店街が広がりました。交通の中心が車になるまでの間、人

とモノが行き交う物流の中心地として、にぎわいを見せていました。

駅の建て替えに伴い、6月27日には、地域住民が「新田駅舎127年間に感謝する集い」を開催。新田駅前自治会の石川法夫会長が駅の歴史を紹介し、地元の児童や園児たちは「今までありがとうございました。これからも新田駅を大事にしていきます」と述べ、新田駅舎へ感謝の気持ちを伝えました。

地域の特色を イメージした新駅舎

新駅舎のデザインは、JR東日本仙台支社仙台建築技術センター内でデザインコンペを重ねて決定されました。デザインを考案した西島悠介さん

んは「新田は伊豆沼・内沼が近く渡り鳥の飛来地として有名な場所。地元シンボルでもある駅にその地域の特色を取り入れました」とデザインに込めた思いを話します。外観は、渡線橋(ホーム同士を連絡するための架けられた橋)と対称になるような傾斜にし、渡り鳥が羽ばたくシルエットをイメージしてデザイン。また、正面には丸窓が設置され、白鳥の有機性が表現されています。駅舎内には、右記のとおり梁とベンチにも白鳥をモ

チーフにした工夫が施されているほか、大きな窓を道路とホームの両面に設置することで、伊豆沼へ繋がる水田風景との連続性を保ち、重要景観計画区域に指定されている地域になじむようなデザインになっています。

西島さんは「何度も現地に足を運び地域のことを考えてデザインしました。私にとっても初めてデザインを担当した思い出の駅。地域の人たちに長く愛される駅舎になってほしい」と願いを込めました。

■新駅舎内観



白鳥をイメージした梁型シンボル

渡り鳥の飛来地である伊豆沼・内沼の最寄り駅であることから、白鳥をイメージした梁型シンボルがデザインされています。

宮城県産材を使った木製ベンチ

宮城県産材のスギを使い、土台には白、黄、黒と白鳥を連想させる配色が施されています。



1 1923年当時の駅とホーム。駅の前には蒸気機関車を待つ人たちが並ぶ 2 大正時代の駅員たち 3 集団就職のため旅立つ子と励ます母親 4 新田小児童の修学旅行にも電車が使われた 5 駅前のスペースでは商店会が企画した盆踊り大会が開催された

～新田駅の思い出～

遠藤 きくよさん(73) 迫町大形
売店から見た新田の風景



私は、駅構内にあつた売店で1982年から約10年、店員として働いていました。

当時は通勤や通学に電車を利用する人たちが、朝のピーク時には50人ほどの利用者で混雑していました。あわただしく新聞やたばこを買って電車で駆け込む人たちの姿を懐かしく思い出します。夕方には帰りのバスを待つ間、たくさんの子どもたちが鬼ごっこをしたりかくれんぼをしたりと、にぎやかな声であふれていました。

今は昔に比べると利用者は減り、以前ほどのにぎわいはなくなってしまうましたが、私たち地域住民にとって思い出の場所であることは変わりません。新駅舎となったこれからも、地域にとって大切な存在であり続けてほしいと思います。

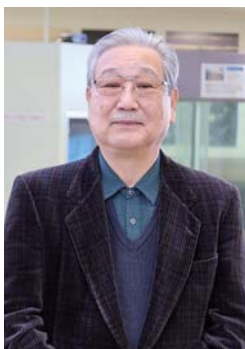
にぎやかさの中心の場所

私が新田駅前商店街でお店を営んでいた1970年頃、新田駅の近くには大きな運送会社があり、牛や馬、農産物が出荷されるなど、この場所は近隣の地域にとって物流の起点となり、多くの人が訪れていました。

物流が盛んだったことから駅前にある商店街も大変にぎわっており、当時は「駅前銀座」と呼ばれるほど。欲しいものは商店街に行けば全てそろいました。

また、夏には駅前のスペースを使わせてもらい、商店会が主体となって盆踊り大会を開催するなど、新田駅はいつも地域のにぎわいの中心にありました。私も商店会の一員としてお祭りの手伝いをさせてもらい、忙しく過ごさせてもらったことが、今では良い思い出です。

高橋 正人さん(74) 迫町新田駅前





6 さまざまな店が並ぶ1960年頃の駅前商店街 7 1970年代には通勤や通学のほか旅行などで多くの利用者でにぎわいを見せた 8 1994年、開業100周年を迎えた新田駅 9 昨年6月、地域住民により開催された「新田駅舎127年間に感謝する集い」 10 「新田駅のある風景写真展」のポスター

Interview



新田あるものさがしの会
及川 昌義 理事長(70)

今までも、これからも、地域の宝として

新田駅は地域にとって宝であり、たくさんの思い出や歴史が詰まった場所です。

商店会を中心にさまざまなイベントが開かれていたほか、私が若い頃は集団就職で関東方面に旅立つ人たちの姿もあり、人生の始発駅として思い出に残っている人たちも多いと思います。子どもを見送る母親や校歌を歌いながら送り出す在校生の姿もあったと聞いています。

「新田あるものさがしの会」では、地域住民が思い出を振り返る機会になればと、伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターで「新田駅のある風景写真展」や旧駅舎解体後の8月には駅を懐古する展示会「新田駅舎の思い出」を開催しました。展示会では駅舎入口に使われていた特徴的なデザインの柱や駅名表示板、駅舎などの写真約40点を展示しました。また、新田駅舎の価値を再認識してもらうため「新田駅を考える会」を設立し、

地域の皆さんと情報を共有しています。

新駅舎は地域の特色を考えて作られており、地元の人たちからも「良いデザインだな」といった声が上がっています。旧駅舎は無くなってしまいましたが、新田駅は、地域の人たちにとって大切な存在であることに変わりありません。これからも、定期的にこれまでの思い出を振り返られるようなイベントを考え、地域の宝として伝え続けていきます。



新田駅を考える会発足時の会議の様子

生きる～『おかえりモネ』が描いた登米

市では12月19日、アフターモネに向けて「おかえりモネ」の魅力をさらに広め、市の魅力を再認識するため、シンポジウム「～森に生きる～『おかえりモネ』が描いた登米」を開催しました。当日の基調講演とパネルディスカッションの様子を紹介します。



左からモデレーターの佐藤万里子さん、市観光シティプロモーション課小野寺崇、一木正恵さん、竹中雅治さん、田上佑輔さん、佐藤純さん

本市が舞台の一つとなり、5から10月まで放送された連続テレビ小説「おかえりモネ」。市の自然や食文化など、さまざまな魅力が美しい映像で表現され、全国から多くのドラマファンが訪れるなど、大きな反響がありました。

市では12月19日、チーフとしてドラマを演出した一木正恵さんを迎え、『おかえりモネ』が伝えたかったことをテーマに基調講演を開催。

基調講演では、一木さんが「森林や伊豆沼、登米町の歴史的な街並みなど、良い所がたくさんあり、どう紹介するかをずっと考えていました」とドラマ演出を振り返りました。また、登米での題材を探していく中で、「森林セラピーとラフターヨガの衝撃」「やまと診療所の衝撃」「震災時に果たした役割」「唯一無二の個性」を上げ、制作時の大変だったことやそれぞれのシーンに込めた思いなどを語りました。

その後、ドラマに携わった竹中雅治さん（登米町森林組合）と田上佑輔さん（医療法人社団やまと）、ドラマを活用して地域振興を手掛けている佐藤純さん（長沼ふるさと物産）とともに、今後、「おかえりモネ」をどのように生かしていくかを考えるパネルディス

カッションを開催。その様子を抜粋して紹介します。

「**医事考証として関わる中で意識したことは**

田上 菅波先生や中村先生の背後の設定や（医師としての）思いや使う資料について相談を受けていました。思っていた以上に相談が多く、思い切り関わらせてもらえて楽しかったです。また、ドラマの中で菅波先生が感じていたことは私も感じています。東京大学で外科医をやっていた時に震災が起きました。この有事に被災地へ駆け付けなくてはいけないと思いい、この地を訪れました。活動を続けていくと、同じ思いの人たちが集まって、現在はドクターが数十人、代わる代わる訪れて活動しています。

一木 「医師としてこの考え方は妥当なのか」や「このシーンだったらどのような本を読んでいるのか」といった部分を相談させていただきました。カフェのような敷居の低い場所で医療についての相談を受けるといふことをされていたので、まさしくその設定を採用し、まねさせていただきました。

シンポジウム「～森に

「おかえりモネ」展の来場者が 10万人を突破

長沼フートピア公園と遠山之里で開催している連続テレビ小説「おかえりモネ」展の来場者が12月16日、10万人を突破しました。

節目の来場者は、仙台市の阿部英明さん（70）と妻の礼子さん（63）。二人には、長沼フートピア公園の佐藤純所長から市の木工品などの記念品が手渡されました。

英明さんは「おかえりモネ展で登米の新しい魅力を知ることができました。パネルなどの展示物を見るとドラマを思い出しますね。また登米に来たいです」と笑顔で話しました。

「おかえりモネ」展は令和4年10月末まで開催します。



10万人目の来場者となった阿部さん夫婦（真ん中、右）と佐藤所長

「林業考証」としてスタッフへ伝えてきたことは

竹中 森林組合を舞台にしてモネという少女が育っていく姿を描く。これは森林組合にとって革命的だと思いました。林業をどういった姿でドラマの中に取り入れてもらい、伝えられるかを考えていました。私は森林組合で仕事をしている人たちがどのように考えているかを常々考えながら仕事をしていたので、そこからリアルな林業とドラマをつなげていくかを意識していました。ドラマで描かれていた森林組合は本当に理想的な形で、地域に根差して生きていくということが林業のあべき姿なのかなと思っています。サヤカさんも含めて100年の森づくりというの

を頭の中に描きながら脈々とやってきたその姿が描かれていることがとてもうれしく思いました。また、ドラマの中でこれほどまでに組手^{グロウ}が出てくるとは正直思っていませんでした。組手^{グロウ}は震災時、避難所の人たちの生活がとて大変で隣の人との間をつくる間仕切りなどプライバシーを守る役割としてとても活躍しました。組み立てて、またばらして使うということも益だなを作成するシーンとしてドラマの中で表現してくれて、うれしく思います。

「観光面での効果は

佐藤 ドラマの中で森や山などの自然をきれいに映していただき観光に携わる者として本当にありがたかったです。

Hi!FM

シンポジウムの様子が はっとエフエムで放送されます

シンポジウム当日の音声に登米コミュニティエフエム（はっとエフエム）にて、下記の日程で放送されます。

【内容・放送日時】

- ▶ 基調講演＝1月23日（日）午後5時
- ▶ パネルディスカッション＝1月30日（日）午後5時

☎02220(23)7331

【問い合わせ】まちづくり推進部観光シテイプロモーション課（観光シテイプロモーション係）

来場者Interview



長倉 智幸さん(49)
南方町北本郷

ドラマの中で、登米市がたくさん映り、全国の人たちに知ってもらえてうれしく思います。撮影に関わった方々の努力のおかげで、登米市の魅力を再発見させてもらったのだなと考えさせられた講演会でした。



阿部 俊則さん(60)
栗原市

人の気持ちに寄り添うようなドラマ構成が関心深く、楽しみに見させていただいていた。「森と海はつながっている」というテーマを特に意識して制作されていたのだなと、改めて感じることができました。

市長との意見交換会

中学生がまちづくり提言

「移動市長室」は12月1日、米山中学校(生徒229人、鈴木光之校長)で開かれ、同中3年の生徒71人が熊谷市長に市への提言を述べました。

移動市長室では、生徒たちが産業・特産品・観光についての現状や問題点、改善案などを発表。「特産食品のスタンプラリーを企画してはどうか」「地域と協力してごみの無いきれいな町づくりを」といった意見が出されました。発表後、生徒を代表し、佐々木謙太郎さんが「こうした場で、直接意見を伝えることができ、やりがいを感じました。今回学んだことを生かし、登米市に貢献していきたいです」と、感想を述べました。



発表を聞いた熊谷市長は、現状を踏まえた上での今後の登米市の施策について生徒たちに説明しました。

安全安心な園目指し

アニメで教わる防犯教室

「防犯教室」は12月14日、豊里こども園で開かれ、同園の職員と園児237人が、登米警察署員から不審者への対応を学びました。

防犯教室では、犯罪から身を守るための合言葉「いかのおすし」について、DVDでアニメを見ながら歌やダンスを交えて学習。上野律子園長は「11月9日に起きた不審者侵入事件を受け、改めて子供たちに防犯の意識を持ってほしく、登米警察署に協力いただいて開催しました。今後も紙芝居による呼び掛けや職員向けの研修などを実施し、防犯への意識付けを続けていきたい」と話しました。



防犯教室後、事件発生時に被害拡大を防いだとして、県警察本部と登米警察署から感謝状が贈呈されました。

平筒沼の生態系守る

水・いきもの保全隊活動

「第55回すばらしいみやぎを創る運動功績者表彰(団体の部)受賞報告」が12月15日、市役所迫庁舎で開かれました。

水・生き物保全隊(伊藤昭一代長)は、米山町吉田地区の有志により、2013年結成以来、毎年6から9月にかけて、定期的に平筒沼のハスやヒシの刈り取りを実施しており、その活動が「美しい生活環境を創る運動」に当たるとして評価されました。伊藤代表は「今後も、平筒沼の景観の向上や水生植物の過剰繁殖を防ぎ、生態系を守り続ける環境保全に努めていきたい」と決意を語りました。



12月15日、市長への受賞報告に訪れた「登米市平筒沼水・いきもの保全隊」の皆さん。右から2番目が伊藤代表。

開通で広域交流強化 県北高速幹線道路開通式

「みやぎ県北高速幹線道路第Ⅲ期(佐沼工区)完成記念式典」が12月17日、佐沼ICで開かれ、村井知事や熊谷市長など関係者80人が出席しました。

これにより、栗原・登米間を結ぶ全長24^{km}のうち、2013年度から整備を進めてきた佐沼工区の3.6^{km}の区間が完成。県北部の広域交流強化、産業・観光振興、救急医療活動の支援、渋滞緩和などに結びつく、高速道路ネットワークが構築されました。熊谷市長は「横軸がつながったことでいろいろな形での発展が期待されます。特に企業誘致などには、非常に優位に働くと考えます」と期待を込めました。



佐沼工区の開通を祝い、村井知事、熊谷市長、小野寺衆議院議員らがテープカットに並びました。

にぎわいを届けたい 高校生が投影映像を制作

迫町佐沼大網地区の「第20回おおあみイルミネーションロード」(大網商工振興会主催、遠藤光則会長)で12月11、16、23日、1月14日の4日間、登米総合産業高生がプロジェクションマッピングを上映しました。

同地区のイルミネーションは、地域ににぎわいを取り戻そうと12月11日から1月14日まで点灯。歩道脇に灯されたイルミネーションと共に高校生が制作した投影映像が地域を明るく照らしました。遠藤会長は「コロナの影響で多くのイベントが中止される中、登米総合産業高の協力で地域に一層の賑わいを届けることが出来て大変うれしく思います」と話しました。



佐佐内科医院をスクリーンにして上映された四季やクリスマスイメージした音と映像が、来場者を楽しませました。

登米の農産物を堪能 給食に地元産食材を提供

市内で栽培された「だて正夢」の新米と登米産牛が、12月8日から22日まで、市内全ての公立幼稚園や保育所、認定こども園、小中学校の給食で提供されました。

地元産食材の提供事業は、市が全国に誇る農畜産物を子どもたちに知ってもらうことが目的。12月20日には、生産者の千葉明広さんと三塚浩之さんが佐沼小の5年93人に登米市の稲作農家と畜産農家が連携する資源循環型農業について説明。農業への理解を深めながら地元の味を堪能しました。児童たちは「ごはんはもちりして歯ごたえがある」「牛肉は柔らかくて甘いタレとよく合う」などと感想を話しました。



約7千食分のだて正夢の新米685^{kg}と登米産牛276^{kg}が給食センター単位で各学校などに提供されました。

新型コロナウイルス追加接種（3回目接種）について

「新型コロナウイルスワクチンの2回目接種完了」から原則8カ月以上（65歳以上の高齢者は7カ月以上）を経過した18歳以上の人で、追加接種（3回目接種）を希望する人に対し、集団接種と協力医療機関の個別接種を実施します。接種時期は、65歳以上の高齢者の集団接種は1月29日から、64歳以下の接種は高齢者接種完了後に順次実施します。

接種券の送付と接種会場について

【接種券送付時期】対象となるワクチン2回目接種完了から原則8カ月以上経過する時の1カ月程度前に順次送付します。

【接種券送付対象者】2回目の接種時に登米市に住民登録があった人で、接種券を送付する時期に登米市に住民登録している人。登米市外に住民登録がある人は、住民登録がある市町村にお問い合わせください。また、登米市に転入した

人は、転入時期によっては接種券が送付されません。その際は、発行申請が必要となりますので、ご注意ください。

※フローチャート参照

【接種会場・日時】接種券と別にハガキでお知らせします

※医療従事者や高齢者施設入所者などは、既に接種した場合でもハガキが送付される場合があります

※指定された日時を変更したい場合は、コールセンターまたはWeb予約システムで予約変更が可能です。

ワクチン接種について

【副反応について】接種券に同封するワクチン説明書、全戸配布チラシや市公式ホームページで必ず確認してください

【ワクチン接種は強制ではありません】感染症予防の効果と副反応のリスクを理解した上で、自らの意志で接種を受けてください。

体質や持病などの理由で新

型コロナウイルスワクチンを受けられない人もいます。

ワクチン接種を受けること、または受けられないことにより、差別やいじめなどが起きることのないよう、地域、学校、会社においては、本人の判断が尊重されるよう配慮をお願いします

【今後のお知らせ】追加接種（3回目接種）については、市公式ホームページと全戸配布

チラシでお知らせします

【問い合わせ】市民生活部新型コロナウイルスワクチン接種対策室（コールセンター）

☎0120（567）257



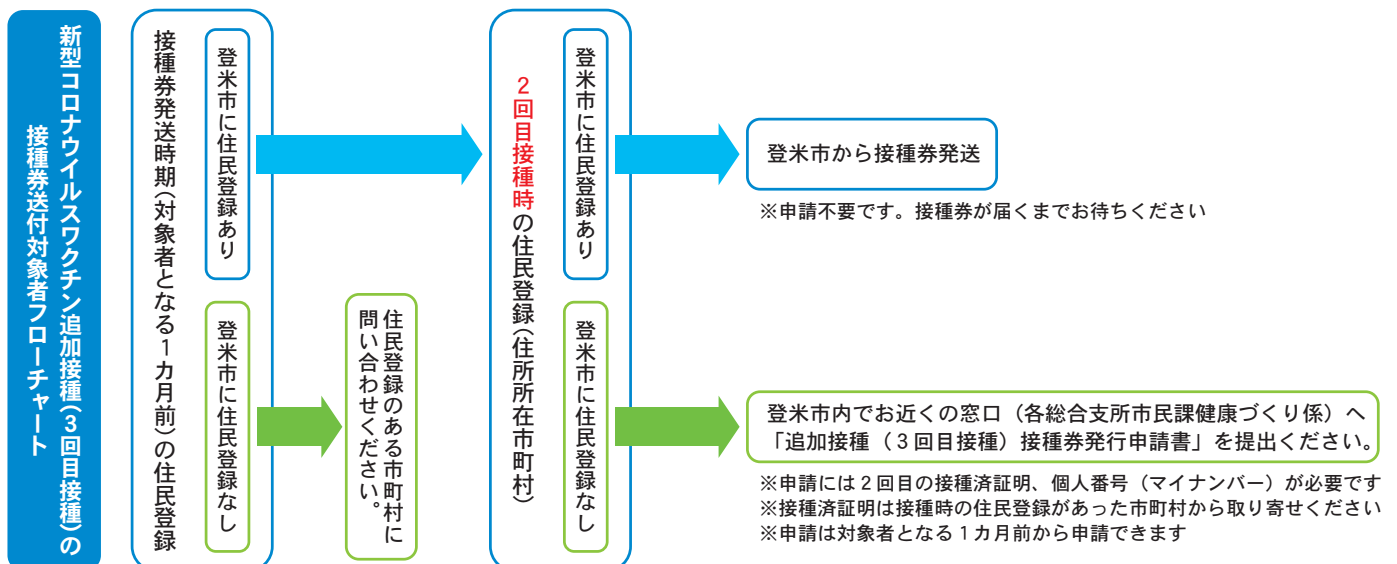
Web予約システム

接種券送付対象者フローチャート

【接種対象者】ワクチン2回目接種完了から原則8カ月以上を経過した18歳以上の人

【接種券送付対象者】接種券送付時に登米市に住民登録がある人のうち2回目の接種時に登米市に住民登録があった人

【接種対象外】ワクチン未接種の人、または1回目接種済みで2回目未接種の人



Information

02

暖房などの灯油購入費を助成 市福祉灯油購入助成事業

市では、灯油の価格高騰を踏まえ、冬期間における経済的負担軽減対策として、一定の要件に該当する世帯を対象に、灯油購入費の一部を助成します。

【助成対象世帯】令和3年12月1日時点において登米市に住所を有する世帯で、令和3年度の市民税が非課税の人で構成される世帯のうち、次の①～⑤のいずれかに該当する世帯
 ①生活保護世帯 ②65歳以上の高齢者のみで構成する世帯 ③母子・父子世帯(児童扶養手当を受給している世帯)または母子・父子家庭医療費助成を受けている世帯 ④身体障害者手帳1級、2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級、2級のいずれかの交付を受けている人の属する世帯 ⑤特定医療費(指定難病)医療受給者証または小児慢性特定疾病医療費医療受給者証の交付を受けている人の属する世帯

【助成額】1世帯当たり5千円(500円券10枚)の福祉灯油購入助成券を交付します

※助成券の有効(使用)期限は、令和4年3月31日までです

【申請方法】助成対象世帯の人は、登米市福祉灯油購入助成券交付申請書に必要事項を記入し、提出してください。

※提出された申請内容を確認し、該当世帯には簡易書留で福祉灯油購入助成券を郵送します

※福祉灯油購入助成券交付申請書は、長寿介護課と各総合支所で配布するほか、市公式ホームページからもダウンロードできます

【申請期限】2月28日(月)

※当日消印有効

【注意事項】令和3年1月2日以降に登米市へ転入した人が福祉灯油購入助成券を申請する場合は、前住所地の市町村が発行する世帯全員分の令和3年度市町村民税非課税証明書を添付してください

【申し込み問い合わせ】福祉事務所長寿介護課(長寿社会係)

〒987-0466 / 登米市南方町新高石浦130
 ☎0220(58)5551

Information

03

施設への自動販売機設置者を募集します

市の施設に設置する自動販売機の設置者を募集します。希望する場合は、次の方法により申し込みください。

【販売機の種類】清涼飲料水自動販売機(災害救援対応型)

※酒類・ビン類を除く

【応募方法】必要書類(要領、仕様書など)を担当課窓口で受け取るか、市公式ホームページからダウンロードし、募集内容を確認の上、参加申込書類を提出してください

※応募資格など詳細は仕様書を確認ください

※希望者が複数の場合は、抽選で設置者を決定します

【設置台数】各施設1台

【電気料】自動販売機の電気料は設置者負担



募集内容

選定方法	公募抽選グループ	施設	設置期間	募集期間	設置料金	申し込み・問い合わせ
公募抽選	グループ①	迫総合支所 中田定住促進住宅 中田農村環境改善センター	令和4年4月1日 ～令和6年3月31日 ※2年間	1月20日(木)～ 2月7日(月)	売上高に8%または8.8%を乗じた金額	総務部総務課(財産係) ※迫庁舎2階 〒987-0511 / 登米市迫町佐沼字中江2-6-1 ☎0220(22)2091 ✉somu-somu@city.tome.miyagi.jp
	グループ②	石越定住促進住宅 新クリーンセンター(屋外) 中田生涯学習センター				
	グループ③	消防防災センター 新クリーンセンター(屋内) 東和定住促進住宅				
	中江中央公園					
	萩洗公園					
		かがの公園			1台につき1万円	建設部住宅都市整備課(都市整備係) ※中田庁舎1階 〒987-0602 / 登米市中田町上沼字西桜場18 ☎0220(34)2316 ✉jyutakutoshi@city.tome.miyagi.jp
		鹿ヶ城公園				

所得の申告相談が始まります

申告相談は令和4年1月1日現在、市内に住所があり、次に該当する人が対象です。

申告が必要な人

令和3年中に所得があり①勤務先から源泉徴収票を交付されていない②勤務先で給与の年末調整をしなかった③給与所得のほか、農業や営業などの各種事業所得、不動産所得、配当所得、雑所得などの所得があった

務所に依頼する人を含む）や国税電子申告・納税システム（e-Tax）で申告する場合は市役所での申告は不要です

附表提出のみの申告

次のいずれかに該当する場合は、申告書附表の提出で申告したことになります。①収入がまったく無かった（他市町村にいる家族の扶養に入っているなど）②収入が障害者年金、遺族年金、失業給付などの非課税所得のみ

申告相談の受付方法が変わります

※申告書附表は「所得の申告相談について（ご案内）」に添付しています。必要な項目を記入し、3月15日（火）までに各申告会場か各総合支所市民課に提出してください

※申告書附表は「所得の申告相談について（ご案内）」に添付しています。必要な項目を記入し、3月15日（火）までに各申告会場か各総合支所市民課に提出してください

これまででは、会場で受付名簿に住所や氏名などを記入していましたが、個人情報保護や受け付けの効率改善のため、次のとおり変更します。①会場に準備してある申告相談

受付票（以下、受付票）を1世帯につき1枚記入②記入した受付票を会場に設置されている受付票回収ボックスへ入れる③職員が番号札を渡しします。会場が開く前に受付票を回収ボックスに入れた人には、会場が開いてから順番に番号札を配布します④番号札に申告受付時間の目安を記載していますので、指定時間の10分前には会場に来てください

①受け付けできるのは当日の申告分だけです。翌日以降の予約はできません

※番号札に記載のある申告受付時間は目安であり、申告相談内容により時間が前後する場合があります

税務署で申告をお願いします

次のいずれかに該当する場合は、税務署で申告をお願いします。①青色申告②過年分（令和2年分以前）の申告③取用以外で土地、建物など不動産を売却した④上場株式や先物取引所得がある⑤繰越損失の申告⑥住宅借入金等特別控除の適用を受ける⑦相続税法対象年金の申告⑧利子所得の申告⑨初めて営業、不動産の申告をする⑩令和3年1月2日以降に死亡した人の代わりに申告する

【問い合わせ】総務部税務課（市民税係）
☎0220（22）2163

税務署からのお知らせ

申告書作成会場の開設について

【開設場所】佐沼税務署 1階会議室

【開設期間】2月1日（火）～3月15日（火）

※土日、祝日は開設しません

【開設時間】午前9時～午後5時

※混雑緩和のため、会場への入場には「入場整理券」が必要です。入場整理券は、当日会場で配付します

※入場整理券は、LINEを通じたオンライン事前発行も可能です。オンライン事前発行の詳細は、国税庁ホームページを確認ください

※入場整理券の配付状況により、後日の来場をお願いする場合があります

※感染症対策として、できる限り少人数で来場ください

※開設期間終了間際は、大変な混雑が予想されます。早目の来場をお願いします

【問い合わせ】佐沼税務署

☎0220（22）2501

※音声案内で2番を選択

法務大臣から 人権擁護委員に委嘱

瀬戸栄典さん（中田町・再任）、及川さよ子さん（中田町・再任）、佐々木裕見子さん（豊里町・再任）、千葉祐宏さん（石越町・新任）、加藤弘子さん（南方町・新任）、堀田耕平さん（津山町・再任）が1月1日付けで、法務大臣から人権擁護委員の委嘱を受けました。

人権擁護委員は、人権に関する相談や学校で人権教室を開くなど、命の大切さや思いやりの心についての理解を深めてもらうための活動をしています。

【問い合わせ】仙台法務局登米支局（総務係）
☎0220（52）2070

Information

06

お店の広告塔 バス停留所への広告募集

市民バス停留所への広告掲載希望者を募集しています。お店の広告塔として、活用ください。

【対象者】事業所や事務所店舗などがある個人や法人

【申込期間】1月20日(木)～3月1日(火)

【申込方法】申込書に必要事項を記入し、郵送または持参してください

※指定の様式はまちづくり推進部市民協働課で配布するほか、市公式ホームページからもダウンロードできます

※郵送の場合は、封筒に「バス停留所広告掲載申込」と記載

■ 広告内容

広告掲載場所(停留所名)	登米市民病院前(2枠) 佐沼高校北(2枠) 佐沼高校正門前(4枠) 登米総合産業高校前(5枠) 若草園(2枠)
広告サイズ	A1版(縦841mm×横594mm)以内
掲載期間	令和4年4月～令和5年3月
掲載料	1枠あたり月額5千円(年間6万円)

■ 広告掲載イメージ



登米総合産業高校前



佐沼高校正門前

してください

※広告の制作、設置、撤去費用は広告主負担です

【申し込み・問い合わせ】まちづくり推進部市民協働課(地域づくり推進係)

〒987-0511/登米市
迫町佐沼字中江2-6-1
☎0220(22)2173

Information

07

原子力災害に備える 登米市原子力防災訓練実施

女川原子力発電所で事故が発生した場合に備え、原子力防災訓練を実施します。

訓練対象は、原子力災害対策を重点的に実施すべき地域(豊里町、津山町)で、住民避難訓練や屋内退避訓練を実施します。

また、市内全域で携帯電話に緊急速報メールを配信する

訓練も実施します。

皆さんのご理解とご協力を願います。

【日時】2月12日(土)午前9時から午後1時頃まで

【広報訓練(豊里町、津山町)】コミュニティFM放送(緊急告知ラジオ、屋外放送)と市広

報車による広報

【緊急速報メールの配信】市内

全域へ午前9時30分頃と10時頃の2回配信予定

【住民避難訓練(豊里町、津山町の模擬避難者)】避難車両の避難退城時検査など(迫川防災ステーション、登米総合体育館/避難所運営訓練(南方武道伝承館、中田農村環境改善センター)

【屋内退避訓練(豊里町、津山町)】対象世帯で自宅などへの屋内退避

【問い合わせ】総務部防災危機対策室(危機対策係)
☎0220(23)7393

Information

08

国からの緊急情報を即時に配信 Jアラート情報伝達試験実施

全国瞬時警報システム(Jアラート)国から配信される情報伝達システム)から送られてくる武力攻撃などの緊急情報を、確実に皆さんに伝えるため、コミュニティFM放送と登米市メール配信サービスにより情報伝達試験を実施します。

【日時】2月16日(水)午前11時ごろ

【問い合わせ】総務部防災危機対策室(危機対策係)

☎0220(23)7393

■ 試験内容

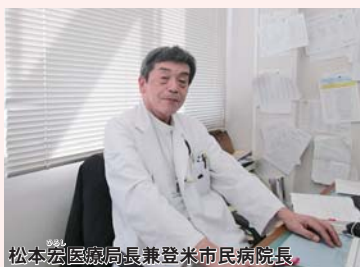
情報伝達手段	放送内容
①コミュニティFM放送 ▶屋外放送設備 ▶緊急告知ラジオ※	コミュニティFM「はっとエフエム」を活用し、市内に設置している全ての屋外放送設備、各世帯などへ配布している緊急告知ラジオから、一斉に次の内容を放送します。 【放送内容】(無音1秒程度)→「こちらは、登米市役所です。緊急放送をお知らせします。発表日時2022年2月16日〇時〇分〇秒、即時音声合成メッセージが発令されました。これは、Jアラートのテストです」
②登米市メール配信サービス	登米市メール配信サービスに登録しているメールアドレスに、次の内容のメールを送信します。 【送信内容】件名：即時音声合成メッセージ発表/本文：「登米市【防災】発表日時2022年2月16日〇時〇分〇秒、即時音声合成メッセージが発令されました。これは、Jアラートのテストです」

※緊急情報のテストのため、緊急告知ラジオは、音量調整つまみの設定にかかわらず最大音量で放送されます(放送中は音量調整ができません)試験を中止することがあります

病院事業だより

①登米市の病院事業について

～市民の皆さんと未来の病院事業を一緒に考えるため、登米市病院事業についてシリーズで紹介します～



松本宏医療局長兼登米市民病院長

登米市病院事業では「地域の皆さんが安心して医療を受けられる病院」を目指し、近隣医療機関だけではなく、老健や特養、在宅サービスを提

供する介護施設とも連携を進めています。

市立3病院では地方特有の医師や看護師の不足で、高度な専門医療や高次救急への対応はできませんが、日々医学知識や医療技術の習得に努め、より質の高い医療の提供を目指しています。

専門的な疾患は、大学病院や近隣高次医療機関からの医師応援で対応し、より多くの患者さんが安心

して地元で治療ができるよう努めています。

「笑顔と思いやりを持って患者さんを癒す」をモットーに、医師や看護師だけでなく、職員全体のチーム医療で患者さんの看護に当たっています。

また、新たに臨床研修病院の指定を受け、来年度から初期研修医の受け入れが可能となり、若手医師の研さんの場としての役割も大きくなりました。

市立3病院が、地域医療の担い手として貢献していくためのキーワードは「信頼」と「支持」。病院事業には、患者さんや近隣医療機関、介護施設などからの「信頼」と「支持」がなければ成り立ちません。

今月から、「病院事業だより」を通じて、病院事業の取り組みなどを紹介していきますので、地域医療発展のため、市民の皆さんにもご理解とご協力をお願いします。

■登米市民病院



【病床数】一般病床166床、回復期リハビリ病床30床
【診療科】内科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、人工透析内科
【嘱託医】特別養護老人ホーム：南風園

■米谷病院



【病床数】一般病床32床、療養病床48床
【診療科】内科、小児科、整形外科、耳鼻咽喉科
【嘱託医】特別養護老人ホーム：萩風園、東和高齢者福祉施設

■豊里病院



【病床数】一般病床60床、療養病床30床
【診療科】内科、外科、整形外科、皮膚科、眼科、麻酔科、歯科
【嘱託医】特別養護老人ホーム：光風園、ゆりの郷、松風園、柳風園、石巻花いちもんめ／養護老人ホーム：きたかみ園

■上沼診療所



【診療科】内科、小児科、禁煙外来
【嘱託医】特別養護老人ホーム：迫風園、みろく苑

■豊里老人保健施設



【入所定員】75人（一人部屋11室、二人部屋4室、四人部屋14室）
【入所対象】要介護1～5対象
【通所定員】30人
【通所対象】要支援1・2、要介護1～5

■登米市訪問看護ステーション



【本部】豊里
【サテライト】佐沼、米谷、よねやま
【サービス内容】訪問看護、訪問リハビリ
【訪問エリア】市内および近隣市町村

【問い合わせ】医療局経営管理部経営管理課(管理係)
 ☎0220(21)6888

※嘱託医とは介護施設などから委嘱を受けて、利用者の診察・治療をする医師のこと

健康

2月の献血日程

5日(土)

▶イオンタウン佐沼
10:00～11:45
13:00～16:30



※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、市公式ホームページをご覧ください。下記まで問い合わせください。

【問い合わせ】
市民生活部健康推進課
(保健推進係)
☎ 0220(58)2116

自殺予防

仙台いのちの電話

誰にも言えない気持ち
聞かせてください。

☎ 022(718)4343

ひきこもり

ひとりで悩まないで

宮城県ひきこもり地域支援センター

☎ 0229(23)0024

子ども夜間安心コール

●電話番号

#8000

(プッシュ回線の固定電話、
携帯電話から)

☎ 022(212)9390

(プッシュ回線以外の固定電話、
PHSから)

●相談時間

毎日午後7時～翌朝午前8時

休日・夜間診療案内

休日・夜間診療案内は下記の
番号です(24時間対応)

☎ 0229(24)2267

高齢者の相談窓口 地域包括支援センター

●もの忘れ(認知症)相談

高齢者で「最近もの忘れが多くなった」「認知症と診断されたが、どう対応すればよいか」など、気になることや困っていることがありましたら相談ください。認知症専門医が相談に応じます。

※事前に予約が必要です。各支援センターに連絡ください
【日時】2月25日(金)午後1時30分

【場所】市役所南方庁舎(1階相談室)

●高齢者の消費者被害

詐欺・悪質商法の被害に多くみられるのが、誰にも相談しなかったケースです。「迷惑をかけたくない」「恥ずかしい」などの理由で、一人で判断して被害に遭ってしまっています。

相談先

名称	電話番号
迫地域包括支援センター	0220(22)1152
中田・石越地域包括支援センター	0220(34)7611
石越分室	0228(34)4151
東和・登米地域包括支援センター	0220(53)4811
登米分室	0220(52)5090
米山・南方地域包括支援センター	0220(29)5821
南方分室	0220(58)4311
津山・豊里地域包括支援センター	0225(68)3780
豊里分室	0225(76)4811

身近な人の被害に気が付いたら、お住いの地域包括支援センターに相談ください。消費生活相談窓口の紹介など連携を図り対応します。

●共通事項
【問い合わせ】福祉事務所長寿介護課(地域包括支援係)
☎ 220(58)5551

2月のこころの相談

日	場所・受付時間・担当
2 ⑧	豊里総合支所 13:30～15:30 カウンセラー
15 ⑧	迫保健センター 10:00～11:00 臨床心理士
	中田保健福祉会館 13:30～15:30 医師

精神科の医師などが相談に応じます。安心してご相談いただくため、完全予約制です。相談日前日(土日、祝日を除く)まで、お住いの総合支所まで申し込みください。
迫総合支所☎0220(22)5554
登米総合支所☎0220(52)5054
東和総合支所☎0220(53)4113
中田総合支所☎0220(34)2311
豊里総合支所☎0225(76)4113
米山総合支所☎0220(55)2112
石越総合支所☎0228(34)2113
津山総合支所☎0225(68)3114
※南方町の人は健康推進課まで
☎0220(58)2113

登米市民病院小児科救急診療

●日曜日:受付時間9:00～16:30

●夜間:小児(6歳以上)の診療を希望する場合はご連絡ください

【問い合わせ】登米市民病院
☎0220(22)5511

2月の休日当番医

日	休日急患当番医	歯科休日当番医
6 ⑧	おおたおおたにクリニック (中田町)☎0220(35)1161	おおさか歯科医院(中田町) ☎0220(34)6668
11 ⑨ (祝)	上杉皮膚科医院(迫町) ☎0220(21)1380	みなみかた歯科医院(南方町) ☎0220(29)7020
13 ⑧	佐藤医院(豊里町) ☎0225(76)3420	かさま第2 歯科医院(石越町) ☎0228(34)3887
20 ⑧	佐藤医院(南方町) ☎0220(58)2058	かかの歯科医院(中田町) ☎0220(35)2552
23 ⑧ (祝)	サンクリニック(南方町) ☎0220(29)6060	さとう歯科医院(迫町) ☎0220(22)8133
27 ⑧	八嶋中央診療所(石越町) ☎0228(34)2013	佐藤歯科医院(豊里町) ☎0225(76)0220

●診療時間 9:00～12:00、13:30～17:00

【休日急患当番医】

●第2次診療 登米市民病院 ☎0220(22)5511

【問い合わせ】登米市医師会 ☎0220(22)2084

※月～金曜日(休日を除く)

【歯科休日当番医】

【問い合わせ】市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116

※当番医は、変更する場合があります。各医療機関に確認の上、受診ください。

石巻市夜間急患センター

●診療科目 内科、外科、小児科 ※原則応急処置まで
診療時間など、詳しくは問い合わせください。

【問い合わせ】石巻市夜間急患センター(石巻赤十字病院敷地内)☎0225(94)5111

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします

迫



美しい歌声と朗読で聴衆魅了

新田中学校(櫻井直人校長、生徒65人)の「歓喜に寄す」を歌う会は12月10日、同校の屋外で開かれ訪れた聴衆を魅了しました。

歌う会は「歓喜の歌」「登米市市民歌」「ふるさと」などを合唱、生徒の美しい歌声と会場のイルミネーションが相まって幻想的な会となりました。合唱の間には、生徒代表が「ベートーベンと第九」「歓喜に寄す」を朗読。歌い終えた生徒に会場から大きな拍手が送られました。

先人たちの残した記録と思い

「登米小学校町内文化財見学」は12月6日、登米町域内で開かれ、登米小(岩淵達郎校長、児童201人)2年と4年59人が参加しました。

2学年が混合になるよう4班に編成し、町内4カ所の文化財や警察資料館を巡りました。児童らは、当時、使用されていた車両に「かっこいい」と話しながら体験乗車し、歴史に触れました。また、展示物の説明書きを熱心に読み込んでおり、先人たちの残した記録や思いを学びました。

登米



東和



働くことに理解を深め考える

2008年から続いている東和中学校(千葉純子校長、生徒117人)の「キャリアセミナー」が11月26日、同中学校で実施されました。

同セミナーは、生徒が希望する市内の職業人から、働くことについて教わる講座。多職種の講師十数人から働く楽しさや大変さ、仕事をする上で大切なことなどを学びました。接する機会が無い業種や講師の経験談などを聞き、働くことに対する理解を深めました。

婦人防火クラブの役割を学ぶ

「登米市中田支部婦人防火クラブ大会」(同クラブ主催、佐藤千賀子支部長)は12月5日、中田総合体育館で開かれ、各地区の婦人防火クラブ員149人が参加しました。

同大会は、家庭における火災予防知識の習得や地域における防火意識の高揚を図ることを目的に毎年開催しています。防災塾Q&A代表の戸田和夫さんを講師に迎え、婦人防火クラブの役割などの講話に、参加者らは熱心に耳を傾けていました。

中田



豊里



市内外10の神社へしめ縄奉納

二ツ屋地区の老人クラブ「^{ろくじゅかい}禄寿会」(及川英一^{ひでかず}会長)の皆さんが、戦後から続く毎年恒例の「しめ縄づくり」に精を出しました。

地元農家が作付けした餅米「みやこがね」のわらを使い、ごぼうじめや玄関用、本殿・鳥居用など13種類のしめ縄約3千本が作られました。本殿・鳥居用のしめ縄は、津山町の柳津虚空蔵尊や迫町の羽黒神社など、市内外10の神社へ奉納されました。

5組の出演者が歌や太鼓披露

「第11回なかつやまコンサート」(中津山コミュニティ運営協議会、久保泰宏^{やすひろ}会長)は12月4日、中津山公民館で開かれ、同地区の住民が参加しました。

コンサートには、地区の子どもからお年寄りまでの約150人が参加し、久しぶりの集会イベントを楽しみました。5組の出演者が歌や合唱、バンドや太鼓などを披露し、最後は会場にいる観客と出演者全員で「上を向いて歩こう」を合唱し、盛況のうちに終了しました。

米山



石越



ページェントで公民館を彩る

「いしごし光のページェント」(石越コミュニティ運営協議会主催、菅原健一^{けんいち}会長)は、12月24日から1月10日まで実施され、石越公民館がイルミネーションで彩られました。

24日の点灯式では約100人の観覧者が集まり、点灯に合わせた市消防団ラッパ分団の演奏や、観覧者用に用意されたクラッカーを鳴らし、点灯式を楽しみました。菅原会長は観覧者に「このイベントを多くの人にお知らせしていただき、大いに盛り上げてもらいたい」と話しました。

妊婦疑似体験から子育て理解

「明日の親となる中学生の子育て理解講座」は11月24日、南方農村環境改善センターで開かれ、南方中学校(千葉洋之^{ひろゆき}校長、生徒210人)の3年69人が参加しました。

この講座では、「命」「家族」「子育て」などについて学び、ベビー人形を抱っこしたり、妊婦ジャケットを着て妊婦の疑似体験をしたりしました。今回はコロナ対策のため実際の赤ちゃんを抱くことはできませんでしたが、生徒らは真剣に取り組み、子育ての大変さを実感していました。

南方



津山



元気な声援で餅つきし鏡餅に

12月14日、つやま杉の子こども園(勝倉葉子^{ようこ}園長、園児38人)で4、5歳児18人が臼ときねを使い、昔ながらの餅つきを楽しみました。同行事は昨年、新型コロナの影響で中止となり今回が2年ぶりの実施となりました。

園児らは、餅に関する紙芝居を楽しんだ後、先生たちが見守る中交代で餅つきに挑戦。きねで餅をつくたびに「よいしょ、よいしょ」という元気な声援が響き渡りました。園児みんなで一生懸命ついた餅は、鏡餅にして飾りました。

一般向け

PICKUP_04 衣食住を彩る
「水引レシピ」



田中 杏奈／著
ブローチ、箸置き、ラッピングなどいろいろなことに使える水引。さまざまな素材と結び方を紹介しながら、暮らしの中へ取り入れられる水引の作り方を解説します。

PICKUP_05 イラストでひと目でわかる
「お客様に嫌がられる接客喜ばれる接客」



平山 枝美／著、キタハラ ケンタ／絵
接客方法を少し変えるだけで、コミュニケーションが上手になり売り上げが向上。接客シーンごとに、「嫌がられる接客」と「喜ばれる接客」をイラストで紹介。

PICKUP_06 「フェイクフィクション」



菅田 哲也／著
潤平は、ある日同じ職場に入ってきた美祈に一目惚れするが、彼女が新興宗教に関係していることを知ってしまう。疑いなき信仰心に警鐘を鳴らす物語。

子ども向け

PICKUP_01 「世界の歴史366」
ぜんぶこの日にあったこと!



祝田 秀全／監修、TOA／絵、主婦の友社／編
小学生から知っておきたい366日の出来事を、イラストとクイズで楽しく学べます。今日は何が起きた日なのか、グローバル化に欠かせない世界史が身に付く一冊。

PICKUP_02 おはなし図鑑シリーズ
「みのまわりのふしぎ」
写真とイラストでひみつがわかる!



小峯 龍男／監修
身の周りにはたくさん「ふしぎ」がいっぱい。写真とイラストで「ふしぎ」に隠れた秘密を楽しく学び、考える力や探究心、好奇心を育てる一冊です。

PICKUP_03 「木のロボットと丸太のおひめさまのだいぼうげん」



トム・ゴールド／作、金原 瑞人／訳
王様とお姫様のもとにやってきたのは、木のロボットと丸太のお姫様。4人は仲よし家族になりましたが、ある日お姫様がいなくなってしまう…。

続々新刊が入荷。詳しくは市公式ホームページで

●Library Topics

みんなの図書館

利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします

動物文字のパネル展を開催

いろいろな文字を動物で表したものが動物文字絵です。動物文字絵作家の山内ジョージ氏は中国大連市生まれで、戦後日本へ渡り、父親の郷里である中田町で育ちました。

中田図書室では山内氏が独自に考案したユニークな文字絵のパネル展示「動物文字絵ってなあに」を開催します。

皆さんのお越しをお待ちしています。

【期間】2月11日(金)～27日(日)、午前9時～午後5時

【観覧料】無料

【場所】中田生涯学習センター(玄関ホール)

【問い合わせ】中田図書室

☎0220(34)8081



画:山内ジョージ



画:山内ジョージ

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など(中田図書室は祝日も開室)
※その他、館内整理など不定期での休館もありますので問い合わせください
- 問い合わせ 迫 図書館 ☎0220(22)9820
登米図書館 ☎0220(52)5330
中田図書室 ☎0220(34)8081

This Month
Pick Up
Hot
Communication

Books

Health

Young

Dream

Child

Half
Century

One's
Home

3歳6カ月健診でむし歯のなかった子どもたち



門脇 桜陽ちゃん
(迫町小友)



北浦龍之介くん
(迫町西表)



佐藤 樹くん
(迫町八幡)



菅原 結ちゃん
(迫町下舟丁)



千田彩桜花ちゃん
(迫町中江)



中嶋 まいちゃん
(迫町錦東)



三塚 慶人くん
(迫町大形)



伊藤 潤くん
(中田町桑代)



後藤蓮太郎くん
(中田町本町畑中)



佐々木 紘くん
(中田町町)



鈴木 瑠璃ちゃん
(中田町茶畑)



千葉 咲菜ちゃん
(中田町巻)



鈴木 昂くん
(石越町第四)



佐藤 光晟くん
(南方町高石)



菅原 寧心ちゃん
(南方町沢田)



松本 陸くん
(南方町大門)

歯の健康づくり 大切な乳歯を健やかに

乳歯は、永久歯が正しい位置に生えるための案内役です。乳歯の奥では永久歯が成長しているため、乳歯の虫歯は永久歯にも影響します。

【仕上げ磨き】子どもは一人では歯をきれいに磨けません。大人の手助けて歯の健康が守られます。

【早期発見】虫歯は初期の段階であれば健康な状態に回復させることができます。仕上げ磨きの際は、歯の表面が白っぽくないか、歯の溝が茶色になっていないか、状態を観察してください。

【問い合わせ】市民生活部健康推進課(地域保健係)
☎0220(58)2116

12月中に応募があった
子どもたちを掲載しています

いつまでもお元気で

おめでとうございます 祝100歳



鈴木 つよきさん

(米山町・江浪)

大正10年12月26日生まれ

21歳で結婚したつよきさんは、早くに旦那さんに先立たれ、苦勞しながら子育てや家業の農業に精を出しました。
つよきさんの長生きの秘訣は好き嫌いしないでなんでも食べることで、特にあんこなどの甘いものが好物です。次男の豊臣さんは「これからも元気に過ごしてほしい」と話していました。

若いころ、名古屋へ出て織物やスレートを扱う仕事、そのほかにもいろいろな仕事をしたことが良い思い出と話すときさん。
現在は介護施設に入所。得意の塗り絵などが楽しみです。ときさんの長寿の秘訣は好き嫌いなく食べること。百歳のお祝い会では「皆さんのおかげで楽しく過ごしています」と話しました。

大正10年12月5日生まれ

(登米町・前舟橋)



阿部 ときさん



須田 和子さん

(津山町・小川町)

大正10年12月3日生まれ

和子さんは、津山町柳津で生まれ24歳で結婚。3人の子宝に恵まれ、養蚕の指導員や和裁、看護師など多方面で活躍しました。
現在はデイサービスに行ったり、大好きな歌番組や歴史番組を楽しんだりして過ごしています。和子さんは「うれしさは特に感じません。100歳になったんだなと思うだけです」と話しました。

東和町米谷生まれのふさ子さんは33歳で結婚。子育てをしながら農業にこそよみました。
近所の人たちのお茶のみが楽しかったと話すふさ子さん。現在はひ孫に会うのを楽しみに、のんびりと過ごしています。長男の春男さんは「薬も飲まずに百歳を迎えすこいと思う。これからも元気でいてください」と話しました。

大正10年12月3日生まれ

(中田町・小島)



菅原 ふさ子さん

渡辺 花菜さん(23)

わたなべ・かな
豊里町・横町

- ★**身長と血液型** 147センチでO型です。
- ★**現在は** 石巻市医師会で臨床検査技士として働いています。石巻市内の健康診断やクリニックから受け取った検体の検査をしています。現在は、乳腺エコーの研修中です。早く一人前になれるよう、頑張っています。
- ★**自分の性格** 小心者だなと思います。気の合う友人だちと一緒にいるときは、騒がしい方です。自分の性格を個性と捉え、長所伸展で新しい世界を切り開いていきたいです。
- ★**休日は** まずは掃除をして、整理整頓します。その後は、心ゆくまで趣味に没頭することが多いです。
- ★**趣味は** 漫画、アニメ、ゲームが好きです。ジャンルはこだわらず、気になるものを見るという感じです。
- ★**理想の男性像** 動物好きで、責任感のある人が理想です。私は、将来保護猫やアヒルと暮らしたいので、一緒に楽しんで育ててくれる人がいいです。アヒルの飼い方は、動画で勉強中です。
- ★**今やってみたいこと** 感染症が落ち着いたら、漫画「夏目友人帳」の聖地である熊本県に行ってみたいです。国内で行ったことがない場所を、たくさん訪れてみたいです。
- ★**登米市について一言** 連続テレビ小説「おかえりモネ」の舞台になったことに驚きました。福島の友だちや先生から称賛や連絡をいただき、その反応がとてもうれしかったです。県内でも「登米市」を知らない人がいた中で、知名度が一気に上がり誇らしく思います。登米市の魅力を再発見したので、機会ができたら友達を招いて、案内したいです。



～「わが家のアイドル」を募集～

市内の3歳までの子どもたちを募集しています。家族の記念にいかがでしょうか。投稿お待ちしております。
 <応募方法>①氏名(ふりがな)・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者氏名⑦コメント(50字以内)⑧写真データを添付してください<応募先>まちづくり推進部まちづくり推進課広報係
 〒987-0511 迫町佐沼字中江二丁目6番地1 Eメール:koho@city.tome.miyagi.jp 電子申請:
<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi/uketsuke/dform.do?acs=212IdolMyHome>

電子申請 QR コード



亀井 月愛さん

かめい・るな 北方小5年
迫町・江合

介護士になる夢をかなえたい

私の大好きなひいひいばあちゃんが、脳梗塞で倒れ、体に麻痺が残ってしまいました。うまく体を動かせなくなり、家族でお世話をしました。私がお飯を食べさせてあげると、ひいひいばあちゃんは、「おいしい」と笑顔で話してくれました。

また、一日の出来事などを話していると、「にこっ」と微笑みを浮かべ、私の話にうなずいてくれる姿が忘れられません。ひいひいおばあちゃん笑顔は、私の心の宝物となりました。

このとき私は、お年寄りの方々の笑顔にさせられる仕事っていいなあと思いました。この体験を生かし、介護士としてたくさんのお年寄りを笑顔にしたいという夢を持ちました。その夢をかなえるために私は、介護の仕方やお年寄りの方々が必要とする補助の仕方について調べるなどの勉強に取り組んでいます。相手に寄り添い、理解してあげられる会話力も身に付けたいです。



Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



千葉 望々ちゃん(1歳)

2020年10月19日生まれ

中田町・弥勒寺北 瑞季さんの次女

とにかく足の力がすごくてオムツ替えが大変です。力強く、優しく育ててください。



大泉 依菜ちゃん(2歳)

2019年8月26日生まれ

迫町・中江 愛佳さんの長女

毎日元気いっぱいでおしゃべり大好き。笑顔が素敵な依菜ちゃん。これからも元気にすくすく育ててね。



高橋 唯斗くん(1歳)

2020年12月06日生まれ

中田町・南加賀野 宏喜さんの長男

いつもにこにこ元気いっぱい、おしゃべりが大好きな唯斗。みんなを笑顔にしてくれる我が家の宝物です。

Half Century

寄り添い半世紀

Monthly Hot Communication



小嶋 靖弘さん(78)

啓子さん(73)

迫町・大網西

1970(昭和45)年10月入籍

自分の時間を大切に過ごしていく

★お互いの第一印象は

【靖弘】知り合いの紹介だったんだよ。仕事で荷物を配達したときに、何度か顔を合わせたことがある人だったんだ。

【啓子】おとなしい雰囲気、優しくそうだなって思ったかな。

★結婚当時の思い出は

【靖弘】当時は、仕事が忙しい状況で、休めなかったから、新婚時代二人っきりでいられたことがあまりなかったね。

【啓子】新婚旅行に大勢の親戚がたくさんついてくる時代で、にぎやかな旅行だったの。作並温泉に行ったけれど、忙しくて二人では一泊二日だったね。

★お互いの性格は

【靖弘】友達が多くて朗らか。好奇心旺盛なタイプだね。

【啓子】私は病気をし、日常生活は夫の介助が必要な。でも、不平不満をもらしたことがなく、伴侶に恵まれて、感謝の日々。夫は、土、日にグラウンドゴルフをしに行くのだから、自分の時間を大切に過ごしてほしいね。

★夫婦円満のコツは

【靖弘】料理好きの妻は献立を上手に工夫していて、食の健康管理を通して、二人の絆が深まっている気がするね。

★これからしたいことは
【啓子】孫の成長を見守ること。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「故郷への思い」

1975年(昭和50年)3月、故郷の津山町にある、当時は柳津線(今の気仙沼線)柳津駅から進学のため上京しました。その時はまだ新幹線はなく、特急ひばりで上野駅に着きました。

4年後、日本信号に就職しました。花の丸の内勤務と喜んでいると、配属先は思ってもいなかった経理部。当時はパソコン・メールどころか電卓もなく、計算はそろばん。大学の知識ではなく、津山のそろばん塾で習ったことが役に立ちました。もっとも伝票計算では、5回計算し、5通りの答えが出てきて汗をかきました。

その後、総務・人事・生産管理の仕事、勤務場所も東京・栃

佐藤 敦さん(65)

在京津山会副会長
津山町(柳津一丁目)出身



木・埼玉・大阪と3、4年で変わりました。そうした中、私の信念として変わらなかったのは、「世の為・人の為」と思い、常日頃より仕事をしましたことです。

今は亡き私の父は、津山町の森林組合に勤務していました。朝早くから暗くなるまで、山仕事や農作業をする父の姿を見て、私は育ちました。

その当時、父から「世の為・人の為に仕事しなさい」「おしよすい事はするなよ」と言われたことが、私の教訓として心に残っています。津山町では、父母・兄弟と田植え、稲刈り、いも掘り、植林などをしてきました。

現在の私は、毎日、田んぼや麦畑、遠くに秩父連山・赤城山を見ながら職場へ通っています。その景色から、冬には冬の、春には春の故郷の北上川、麓岳山、田んぼ、畑の光景を思い浮かべています。

NHKの連続テレビ小説「おかえりモネ」が大ヒットし、登米市の北上川の光景をテレビで毎日見っていました。

私のサラリーマン人生も残りわずかとなりました。これからふるさととの為、地域の為に何か出来る事はないかなと考えている今日この頃です。

おらほの道の駅

道の駅林林館「森の茶屋」



人気の「ねこの手マドレーにゃん」を両手に持ち、紹介してくれた澁谷店長。バナナ味とチョコ味が選べます。



ニンニクみそ、下仁田ネギみそ、ばっけみそ、南蛮みその4種類は、特にバイクのツーリング客に好評

今月は、道の駅林林館「森の茶屋」の澁谷祐介店長にお話を伺いました。
Q 人気商品やおすすりめ商品などを教えてください
 自家製のためにはマイタケ、エノキ、シメジを入れてあぶら麩と煮込み、卵でとじた一品のあぶら麩井がおすすりめです。その他、飲食コーナー

では、舞茸ラーメンやR-346ラーメンなどのオリジナルメニューも豊富にそろえています。
 また、野菜を求め気仙沼方面から訪れる客層も増えていきます。赤カブ、ダイコン、ホウレンソウなどの豊富な種類の野菜やキノコ類が並び、加工総菜もあり人気があります。
Q 訪れるお客さんの様子や来館者に伝えたいことなどを教えてください
 市外から訪れるお客さまが増えていきます。「おかえりモネ」の効果もあると思います。県北幹線道路の開通により、



テレビ番組で紹介されて以降、注文が多いあぶら麩井は税込み750円(レストラン 営業時間10:00~16:00、ラストオーダー15:30)

広域的に来館していただけたらうれしいです。まずは地元の方々に楽しんでほしいので、いろいろな企画をこれからも考案していきたいです。
「問い合わせ」道の駅林林館「森の茶屋」
 ☎0220(45)1218

まちの文芸

短歌

作品募集!

●3月号は俳句です。住所・氏名・電話番号を記入し、1月31日(月)までご応募ください。作品・氏名には全てふりがなを振ってください。
 ●応募者多数の場合選考して掲載します。

月の夜雁泣く声に窓開けて
見あげる空に数羽の影絵
しづもれる熊野の森の道祖神
鈴の音響く銀杏並木
子や孫に検診大事と口癖の
我に掛かりぬ焦らず直す
北上川の水流れ穏やか悠々と
清水満たし初春の朝
初詣登る石段大社先
聳える巨樹威風堂堂

高橋 要子 (迫)
高橋 敏子 (登米)
小野寺明子 (登米)
及川総一郎 (東和)
丸山 米子 (東和)

フワフワの新米の味口の中
おかわりしたい百寿の吾は
霜深き朝のしじまに手を合わせ
遠住むひとの癒える日祈る
松の手入れ高いところは任せろと
手伝う息子の器用を知りぬ
雑草よ枯れても生きるたくましさ
雑草なりたし生きる教科書
年明けてコロナ消え去り新型も
桜追いかけて汽車の旅へ

千葉 源治 (中甲)
熊谷たかよ (中甲)
熊谷タヘ子 (中甲)
佐々木儀一 (石越)
加藤 了子 (南方)

応募総数18作品

情報場 情広 Information

掲載している情報は、新型コロナウイルス感染症の影響などに伴い変更になる場合があります。

催し

子どもたちが描く未来
コンクール出展作品展示



「子どもたちが考える登米市の未来新聞コンクール」出展作品を展示します。子どもたちが、将来にわたり住み続けたいと思う市の未来の姿を想像し、壁新聞にまとめました。豊かな感性、創造力に満ちた作品をぜひご覧ください。
【期間】2月4日(金)～20日(日)

夜間納税相談窓口
(1月・2月分)
【日時】1月27日(木)
2月24日(木)
いずれも午後8時まで
【場所】総務部税務課
(迫庁舎1階)
【問い合わせ】
総務部税務課(徴収対策係)
☎0220(22)2169

募集

【場所】イオンタウン佐沼
【応募総数】小学校5年生部門
Ⅱ 3校、23点 / 小学校6年生
部門Ⅱ 9校、40点
【問い合わせ】まちづくり推進
部市民協働課(市民活動支援
係)
☎0220(22)2173

**市景観計画に意見を反映
景観形成会議委員募集**

登米市景観計画の推進に当たり、市民の皆さんの意見を反映させるため、登米市景観形成会議委員を公募します。
【募集人員】2人以上
【内容】登米市景観条例、登米市景観計画に定める事項などについて審議・検討します
【任期】委嘱の日から2年以内

【応募資格】次の全てに該当する人▼登米市に住所を有し、現に居住している満20歳以上の人▼景観について関心があり、公共的な観点から意見を述べられる人▼登米市の職員、市議会議員でない人▼市税を滞納していない人
【応募方法】次の必要書類を提出①応募申込書②市税の納付状況確認同意書③作文「私が考える登米市の魅力ある景観とその保全対策」と題し400～800字程度。様式自由
※申込書は各総合支所市民課と建設部住宅都市整備課に備え付けてあるほか、市公式ホームページからもダウンロードできます
※応募書類は返却しません
【提出先】応募申込書と同意書に必要事項を記入し、作文と一緒に次のいずれかの方法で応募してください
▼建設部住宅都市整備課に郵送
▼建設部住宅都市整備課または各総合支所市民課へ持参
【募集期間】1月20日(木)～2月18日(金)
※受付は平日午前8時30分から午後5時15分まで
※郵送の場合は当日消印有効
【選考方法】選考委員会で候補

者を選考し、市長が委嘱します。選考結果は応募者全員に通知します
【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(都市整備係)
〒987-10602 / 登米市中田町上沼字西桜場18
☎0220(34)2316
☎0220(34)3448
FAX 0220(34)3448
✉iyutakutoshie@city.tome.niyagi.jp

**結婚活動を支援します
良縁TOME参加者募集**

■自分磨きセミナー
「Zoomの使い方講座」(予約制)
オンラインイベントやオンラインお見合いに対応するためのスキルを学べます。
【対象】20～40歳の独身男女
※常時受け付けしています
■結婚相談(予約制)
結婚を考えている本人とその家族を対象にした結婚相談を随時受け付けています。結婚に関する悩みや困り事について一度相談してみませんか。
※結婚相談は結婚相手を紹介するものではありませんのでご了承ください。個人情報を守られますので安心して相談ください

確かな技術で まかせて安心 広告

電気工事・オール電化工事・電気通信工事
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検

有限会社 五島電機

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて 広告

KN KUMANEN
熊谷燃料住設株式会社
快適生活 創造企業
災害時安定供給施設

■アクアショップ KUMANEN ■BFCクマナン ■備ネオウイング
■コインランドリー清潔空間 ■なごみの家きらり ■燻ケアサービス側

TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732
http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

住宅入居者を募集

募集する住宅

市営住宅	中田加賀野住宅 3号(平成5年) (中田町石森字加賀野一丁目12番地3) ▶ 募集戸数 = 1戸(4DK) / 家賃月額 = 2万2700円 ~ 3万3800円 / 駐車場利用は1台のみ(別途2千円)
	豊里新町住宅 6号(平成5年) (豊里町土手下60番地) ▶ 募集戸数 = 1戸(3DK) / 家賃月額 = 1万7100円 ~ 2万5500円 / 駐車場利用は1台のみ(契約なし)

【入居資格】住宅に困っている世帯
 ※市営住宅は低所得世帯であることなどの入居要件があります。
 ※詳細は建設部住宅都市整備課または各総合支所市民課備え付けの募集要項を確認ください
 ※重複しての申し込みはできません
【申込期限】2月2日(水) ※期限厳守・郵送不可
【申し込み】各総合支所市民課または建設部住宅都市整備課
【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅係)
 ☎0220(34)2316

【申し込み・問い合わせ】良縁TOME事務局マリッジサロンプレジール(担当Ⅱ阿部) ☎0120(279)360
 ✉marriage.salonplaisir@gmail.com

【日時】2月20日(日)午前8時30分～午後5時30分
【内容】心肺蘇生法、AED使用方法、止血法など
【場所】消防防災センター
【受講料】無料
【募集人数】15人(先着順)
【申込期間】1月31日(月)～2月13日(日)

**大事な命を救うため
上級救命講習会を開催**



【申込方法】消防署へ電話で申し込みください
 ※詳細は市公式ホームページをご覧ください
【問い合わせ】消防署(救急係) ☎0220(22)2119

**経理基礎科
受講生を募集**

【訓練内容】パソコンを活用し

【入居資格】住宅に困っている世帯
 ※市営住宅は低所得世帯であることなどの入居要件があります。
 ※詳細は建設部住宅都市整備課または各総合支所市民課備え付けの募集要項を確認ください
 ※重複しての申し込みはできません
【申込期限】2月2日(水) ※期限厳守・郵送不可
【申し込み】各総合支所市民課または建設部住宅都市整備課
【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅係)
 ☎0220(34)2316

**小田原短期大学
登米スクール入学生募集**

た事務処理技能と簿記会計知識の習得
【対象者】ハローワークの受講指示、受講推薦または支援指示を受けられる人
【訓練場所】JMTC佐沼教室
【訓練期間】3月25日(金)～6月24日(金)
【費用】テキスト代1万3千円程度(授業料は無料)
【募集人数】15人
【募集期間】1月25日(火)～2月18日(金)
【面接日】3月9日(水)
【面接場所】県登米合同庁舎
 ※詳しくは問い合わせください
【問い合わせ】石巻高等技術専門学校
 ☎0225(22)1719
 ☎0225(94)7399

保育士や幼稚園教諭の資格が取得できる「登米スクール」では令和4年度の入学生を募集します。
【学費】約70～80万円
 ※資格取得までの2～3年間の合計。テキスト代など含む
【募集期限】3月31日(木)
【入学説明会】1月26日(水) / 1月30日 / 2月9日(水) / 2月16日(水) / 3月2日(水) / 全日程オンラインで実施
【申込方法】小田原短期大学通信教育課程ホームページから申し込みください
【応募・問い合わせ】小田原短期大学通信教育部
 ☎0465(22)0285

**不審者対応に伴う
警察からのお願い**

先日、市内の保育施設に刃物を持った男が侵入し、職員に取り押さえられる事案が発生しました。
 教育や保育現場などでの不審者対応については、日頃から職員間で危機管理を行う事が大切です。緊急事態発生時には、児童や生徒、職員の安全を確保し、素早い110番通報をお願いします。
【相談・問い合わせ】
 ▼ 佐沼警察署 ☎0220(22)2121
 ▼ 登米警察署 ☎0220(52)2121



※小田原短期大学通信教育部ホームページ

DAIYU HOME CENTER
ダイユー・エイト 登米中田店

8

おすすめ新生活用品
取り揃えました!!

※写真はイメージです

毎月8のつく日 **8日 18日 28日** + 毎週土曜日

税抜**3,000円**以上お買上げで

ポイント 5倍

ダイユー・エイト 登米中田店案内図 広告

ウジエスーパーさん
マツモトキヨシさん
薬王堂さん
JAみやぎさん
中田総合体育館
登米市立宝江小学校

ヨークタウン内
ダイユー・エイト 登米中田店

宮城県登米市中田町石森字駒牽400
TEL 0220-23-9433

営業時間 あさ8時～よる8時まで

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

家族同士で思いを共有 障がい者家族セミナー

障がいや病気のある人の家族を対象に、家族同士で思いを分かち合うと共に、障がいや病気を理解し合い、前向きな気持ちで生活を送るためのセミナーを開催します。

【対象者】障がいや病気のある人の家族など

【日時】2月9日(水)午後1時30分～4時

【受付時間】午後1時～1時30分

【場所】南方公民館

【内容】▼講話「家族として聴くこと、話すこと、かわること」／講師 Ⅱ 学校法人朴沢学園 仙台大学教授 氏家靖浩氏 ▼ 家族交流会

【参加費】無料(定員30人)

【申込期限】1月27日(木)

【申し込み・問い合わせ】福祉事務所生活福祉課(障がい福祉係)
☎ 0220(58)5552
FAX 0220(58)2375

牛やニワトリなどの 飼養状況を調査します

口蹄疫、豚熱、鳥インフルエンザなどの家畜伝染病の発生予防・まん延防止のために、家畜または家きんを飼っている人は、飼養衛生管理状況などの報告が必要です。

※昨年年度報告した人には、郵送などにより別途連絡します

※報告書の提出がない場合や不適切に飼養管理されている場合は、家畜保健衛生所の指導の対象になります

【対象者】次の家畜または家きんを1頭(羽)でも飼っている人(ペットとして飼っている人も対象です) ▼ 家畜 Ⅱ 牛、豚、馬、綿羊、ヤギ ▼ 家きん Ⅱ ニワトリ、アヒル、ウズラ、キジ、ホロホロチヨウ、シチメンチヨウ、ダチヨウ

【報告期限】2月18日(金)

【問い合わせ】▼ 産業経済部農政課(畜産振興係)
☎ 0220(34)2713
▼ 県東部家畜保健衛生所(防疫班)
☎ 0220(22)2395



ねんきんだより

年金相談・手続きは ぜひご予約をす

日本年金機構では、年金相談や年金請求手続きについて、事前予約を受け付けています。予約は相談希望日の1カ月前から前日まで受け付けています。予約をする際は、基礎年金番号が分かるもの(年金手帳や年金証書など)を用意してください。待ち時間の少ない「予約相談」をぜひご利用ください。

また、新型コロナウイルス

感染症の感染防止の観点から、電話での相談も実施していますので、ぜひご利用ください。

【予約相談受付】

☎ 0570(05)4890

※全国共通の予約専用受付電話

【問い合わせ】

▼ 年金相談関係

☎ 0570(05)1165

▼ 年金加入関係

☎ 0570(003)004

▼ 古川年金事務所

☎ 0229(23)1200

▼ 市民生活部国保年金課(年金医療係)

☎ 0220(58)2166

認知症の理解を深める サポーター養成講座

■ 認知症サポーター養成講座
地域や職場で認知症の人やその家族を見守り、寄り添ったり支え合ったりできるように応援する「認知症サポーター」を養成する講座を開催します。

【日時】2月15日(火)午前10時～11時30分

【場所】登米公民館

【申込期限】2月8日(火)

※定員20人(先着順)

【申し込み】東和・登米地域包括支援センター
☎ 0220(53)4811

■ 認知症サポーターステツプアップ講座
認知症への理解を深め、認知症の人やその家族の支援方法などについて学ぶステツプアップ講座を開催します。

【日時】3月11日(金)午後1時30分～3時30分(受付/午後1時10分)

【場所】南方庁舎(2階大会議室)

【申込期限】2月8日(火)

【申し込み】東和・登米地域包括支援センター
☎ 0220(53)4811

●●働く会社●● 法事・宴会 広告

株式会社 割烹くまがい

中田中学校通り **0220-34-5002**

(株)市民葬祭 **誠香社**

葬儀からご法要までの一環システム

登米市内ホールは5ヶ所ございます。(お選びいただけます)

24時間受付 0220-34-4856(代表)

登米祝祭劇場 2月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
6 ㊤	●第16回登米市民俗芸能大会 【時間】午前10時 【会場】大ホール 【入場料】無料	市教育委員会文化財文化振興室 ☎ 0220(21)5411
11 ㊤(祝)～13 ㊤	●写団登米写真展 【時間】午前9時～午後6時(13日は午後5時まで) 【会場】小ホール 【入場料】無料	写団登米(フォトプロ) ☎ 0220(22)7689
19 ㊤・20 ㊤	●第14回登米市民文化祭 【時間】大ホール＝午前10時／小ホール＝午前9時30分～午後4時 【入場料】無料	登米市文化協会 ☎ 0220(22)2173
26 ㊤・27 ㊤	●2022国際エレキ音楽祭『冬』in TOME 【時間】正午 【会場】大ホール 【入場料】無料	同実行委員会 ☎ 080(3199)8902

※2月の休館日は、7日、14日、21日、28日です
 ※ホールの入場者数を制限する場合があります

■融資条件

資金	金利	融資額	返済期間	資金用途
生活資金	2.75%	100万円	7年	趣味、葬儀費、耐久消費財購入費用など
教育資金	1.55%	300万円	10年	入学金・授業料や仕送り費用など
福祉資金	1.25%	100万円	7年	医療、介護、災害復旧および育児・介護休業中の生活資金など
自動車資金	1.55%	200万円	7年	自動車購入、自動車関連諸費用など

☎ 0220(22)6511

労働金庫迫支店

【申し込み・問い合わせ】東北

【申し込み・問い合わせ】東北

【申し込み・問い合わせ】東北

【申し込み・問い合わせ】東北

【申し込み・問い合わせ】東北

【申し込み・問い合わせ】東北

【申し込み・問い合わせ】東北

【申し込み・問い合わせ】東北

【申し込み・問い合わせ】東北

【申し込み・問い合わせ】東北

【申し込み・問い合わせ】東北

【申し込み・問い合わせ】東北

【申し込み・問い合わせ】東北

【申し込み・問い合わせ】東北

【申し込み・問い合わせ】東北

【申し込み・問い合わせ】東北

【申し込み・問い合わせ】東北

【申し込み・問い合わせ】東北



※詳細は、ホームページに掲載しています

活用ください 勤労者融資制度

勤労者の生活の安定を目的に低金利で各種資金を融資しています。

**集会所などへ備品を整備
宝くじ助成事業**

行政区や町内会などの団体が「令和3年度コミュニティ助成事業(宝くじ助成事業)」で、備品などを整備しました。

この事業は、自治総合センターが宝くじ受託収入を財源に、コミュニティ組織などの健全な発展と宝くじの普及広報を目的として実施しています。

■整備した備品など

実施団体名	整備した備品
大門区自治会	エアコン、カラオケなど
鉄砲丁区親交会	発電機、フライングディスクなど



【問い合わせ】まちづくり推進部市民協働課(市民活動支援係)
☎ 0220(22)2173

人と環境への新しい優しさを目指して お気軽に相談下さい	株式会社 清建 環境プロバイダ 本社/〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字南駒木袋212-3 TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658	仙台(営)/〒989-3127 宮城県仙台市青葉区愛子東三丁目7番2号 TEL.022-799-7213 FAX.022-799-7214 南三陸(営)/〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷字大船沢313 TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122 URL www.kkseiken.co.jp E-mail info@kkseiken.co.jp
	有限会社 清建物流 TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535 本社/〒987-0512 宮城県登米市迫町森字平柳14-1	有限会社 リースキン宮城 TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495 〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字下田中53番地8

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

ものづくりの成果を発表 東北ポリテックビジョン

職業能力開発専門学校や産業技術短期大学校などの専門・応用課程などにおける「ものづくり教育訓練」に係る成果物を発表します。

【日時】2月18日(金)午前9時30分～午後5時 / 2月19日(土)午前9時～正午

【場所】東北職業能力開発大学校

【内容】▼学生の研究発表・作品展示▼ものづくり・ロボット競技会など

【記念講演】2月19日(土)午後1時～2時30分、講演者 石黒章夫氏(東北大学電気通信研究所教授)

【会場】栗原文化会館
【問い合わせ】東北職業能力開発大学校
☎0228(22)2082

相談

出産や育児について 気軽に相談ください

●よりそい・ほっと相談

妊娠中のことや出産、育児について、一人で悩んでいませんか。心配なことや不安な

ことなど、気軽に相談ください。
※助産師が個別相談に応じます

【日時】2月22日(火)午前10時～午後3時30分

【場所】南方子育てサポートセンター

●子育て支援講座

【内容】子育てワンポイントレッスン&タッチケア

【日時】2月8日(火)午前10時～11時30分

【場所】北上子ども園

●共通事項

【申込方法】電話で申し込みください

【申し込み・問い合わせ】市民生活部健康推進課(地域保健係)
☎0220(58)2116

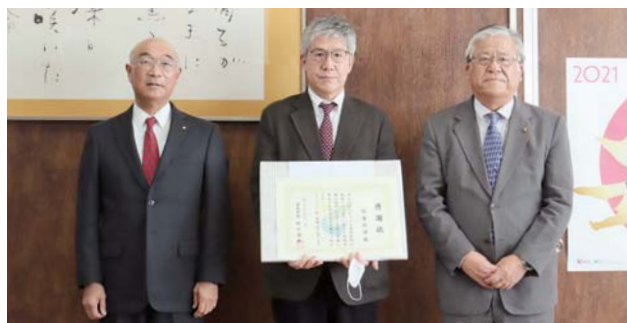
お酒やひきこもりなどの 悩み抱えていませんか

●アルコール等依存症家族教室

アルコールなどの問題を抱える人の家族が、病気の治療や回復の過程、依存症による問題行動への対応について学び合う教室を実施します。

【対象者】飲酒・ギャンブル・薬物などの問題で悩んでいる人の家族

多年にわたる地域医療への貢献に感謝



「登米市感謝状贈呈式」は12月22日、迫庁舎で開かれ、熊谷市長から佐藤昭博氏に感謝状が贈呈されました。佐藤氏は1988年に米山町中津山になかつやま歯科医院を開院。10月の閉院まで地域の診療所として住民から親しまれ、歯科健診をはじめ、歯周病検診や休日救急歯科当番医など多年にわたり歯科保健行政に協力していただきました。また、虫歯予防は「歯と歯の間」「歯と歯茎の間」「歯と歯を合言葉に、地域の歯科保健向上に尽力しました。佐藤氏は「拠点は市外に移りますが、これからも市の歯科保健に関わっていきたい」と話しました。高橋利光市歯科医師会長は「歯科は感染症などのリスクが高く、ストレスが多い仕事。そういう中で33年間頑張ってこられた。ありがとうございます」と感謝を伝えました。

【日時】2月2日(水)午後1時30分～3時
【場所】登米保健所
●ひきこもり・思春期専門相談

ひきこもりや思春期に関する悩みを抱えていませんか。相談員が相談に応じます。

【日時】2月21日(月)午後1時30分～4時30分

【場所】登米保健所

【相談員】氏家靖浩氏(仙台大学/精神保健福祉士、公認心理師)

●共通事項

女性のための 面接相談を開催

DV(ドメスティック・バイオレンス)や離婚、虐待、セクハラ、家族の悩みごと、シングルマザーの子育てなど人間関係で悩む女性のための面接相談を開催します。

【相談料】無料
※事前に予約が必要です
【申し込み・問い合わせ】登米保健所(母子・障害班)
☎0220(22)6118

一人で悩まないで、気軽に相談ください。

※相談は無料で、秘密は守ります

【日時】2月16日(水)午前10時30分～午後4時

【場所】登米保健所

【申込方法】開催前日までに、電話で申し込みください

※託児希望者は6日前までに申し込みください

【申し込み・問い合わせ】県東部保健福祉事務所登米地域事務所(母子・障害班)
☎0220(22)6118

2月の納税

国民健康保険税・・・9期
介護保険料・・・・・・9期
後期高齢者保険料・・・8期

忘れずに納めましょう
 納税は便利な口座振替で
納期限 / 2月28日(月)

登米市の人口・世帯数

(令和3年12月末現在)

地区	世帯数	人口(人)			計(前月比)
		男	女		
迫	7,600	9,588	10,119	19,707	(▲47)
登米	1,753	2,193	2,343	4,536	(▲13)
東和	2,261	2,861	2,943	5,804	(▲27)
中田	5,260	7,552	7,798	15,350	(▲2)
豊里	2,130	3,104	3,175	6,279	(6)
米山	2,838	4,295	4,358	8,653	(▲25)
石越	1,536	2,266	2,251	4,517	(▲17)
南方	2,725	4,039	4,211	8,250	(▲2)
津山	1,121	1,445	1,579	3,024	(▲14)
合計	27,224	37,343	38,777	76,120	(▲141)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています

市内の交通事故発生状況

(令和3年12月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	R3	R2	増減数
人身事故発生件数	95件	118件	▲23件
死者数	2人	3人	▲1人
負傷者数	98人	145人	▲47人
物損事故発生件数	1,362件	1,253件	109件

※R3年1月からの延べ件数(前年同時期と比較)


警察署からのお知らせ

特に早朝と夕方は路面が凍結している恐れがあります。心と時間に余裕を持ち、スピードは控えめにしましょう。「急ブレーキをかけない・急ハンドルを切らない・急加速しない」

12月の災害件数

火災	救急	救助
2件	298件	1件
令和3年累計 (40件)	(3,335件)	(42件)
前年同月 1件	306件	7件

※空気が乾燥する季節が続いています。一人一人が火災予防対策をしっかりと、大切な命と財産を火災から守りましょう



ハローワークはさま発行求人情報
 ハローワークはさまで発行している求人情報を掲載掲載日は祝日を除く毎週火曜日の午後3時です

消費生活相談窓口を開設しています

商品やサービスの多様化に伴い、悪質な訪問販売や勧誘行為、契約や取引に関するトラブル・多重債務など、消費生活に関するさまざまな問題が増えています。

そうした被害や不安、苦情の相談を専門の相談員が受け付け、問題解決のための助言やあっせんなど、解決や未然防止に向けての助けをしています。

※相談は無料で、秘密は守ります

【受付時間】午前8時30分～午後4時30分(土日、祝日、年末年始を除く)

【相談・問い合わせ】登米市消費生活相談窓口(市民生活課内)
 ☎ 0220(58)2117

一人で抱え込まないで 多重債務者無料法律相談

消費者金融、銀行、カードローンなどの返済にお困りの人の相談に応じます。

【日時】2月25日(金)午後1時～4時10分

【場所】迫にぎわいセンター

【担当】及川毅(弁護士)

【相談・申し込み】☎ 0220(58)2117

【相談料】無料(要電話予約)

【問い合わせ】市民生活部市民生活課(市民総務係)

☎ 0220(58)2118

終活のあり方を学ぶ 相談セミナー開催

終活について考えたことがない、何をはじめたらよいか分からないなど終活の悩みやあり方について専門家が相談に応じます。

ワークショップを通して終活について学べます。

【日時】2月27日(日)午後2時～3時

【場所】みやぎNPOプラザ

【申込期限】2月26日(土)

※参加者氏名、2/27終活セミナー参加と記入してメールで申し込みください

【問い合わせ】うみとそら(担当)

当(清田)
 ☎ 022(200)6315
 info@miyagi-sankotuo.org

生活や仕事などの悩み 相談に応じます

生活や仕事の悩み、心配事などを専門知識を持つ支援員に相談できます。

※相談は無料で、秘密は守ります

【日時・場所】2月8日(火)午前10時～午後4時 浅水ふれあいセンター、2月22日(火)午前10時～午後4時 西郷公民館

【問い合わせ】そ・えーる登米
 ☎ 0220(23)8610
 FAX 0220(23)8665

障がい者の自立に向けてしごと相談を開設

【日時】2月22日(火) ①午前9時30分～②午前11時～③午後1時30分～④午後3時～

【場所】県東部保健福祉事務所 登米地域事務所

※職業のあっせんではありませんのでご注意ください

【相談・申し込み・問い合わせ】▼障害者就業・生活支援センター「ゆい」
 ☎ 0220(21)1011
 FAX 0220(21)1012

▼福祉事務所生活福祉課(障がい福祉係)
 ☎ 0220(58)5552
 FAX 0220(58)2375



「ロボットコンテスト兼全国高等学校ロボット競技大会宮城県予選会」は9月11日、古川工業高で開かれ、登米総合産業高機械工作部から出場した「N-UP ∞ 」が優勝。同校として三連覇を達成した。昨年に続き操縦を担当した山田涼太郎長は「三連覇が懸かり、昨年以上にプレッシャーは大きかったが、優勝できてよかった」とほっとした表情を見せた。

毎年課題が変わるロボットコンテストの詳細は、4月に発表される。発表後、大会と同じ規格の練習用コースの制作からはじめ、ロボット制作、試運転、調整と段階を踏んでいく。「ロボットの規定が今までで最も小さく、全体的に小型化する作業が一番大変だった」と山田部長は制作の苦労を振り返った。

顧問である相沢牧彦先生のアドバイスに耳を傾けながら、一つのパーツに複数の機能を持たせるなど小型化するための工夫をしながらの制作。コースづくりや溶接は機械科の山田部長と安部天真を中心に、ロボットのフレームは部内一几帳面な高橋虹希を中心に作業を進めた。一からロボットを作り上げるには、莫大な時間が掛かるが、これまで先輩たちが積み上げてきた技術と知識を生かし、順調に仕

上げる段階に。歴代で最もシンプルな構造のロボットが完成し、重要な作業である微調整のための試運転に入った。チームでの話し合いを重ねながら何百回と微調整を繰り返す。三人にとって高校最後の夏休みの多くをこの作業に当てた。

県大会は、クリアした課題の出来とタイムで順位が決まるポイント制。連覇の期待を背に、山田部長が先陣を切って操作に臨む。順調なスタートを見せると、自動運転を経て操作を安部にバトンタッチ。高橋の指示する声が響く中、ミス無く課題を終え、今大会最高得点を記録した。映像審査で行われた全国大会では入賞を逃したものの、今夏の目標だった三連覇は、学校の歴史に新しく刻み込まれた。

入学当初、ロボット制作は未体験だった三人は、当時優勝した先輩たちの姿に「雲の上の存在。ただただすごいと思った」と口をそろえた。三人がつないだバトンは後輩へ。伝統と技術力はまた次の代に引き継がれた。



今年の大会で使用したロボット

登米総合産業高吹奏楽部

前列右端が千葉歩部長、隣が工藤風汰、後列右端が小松裕樹先生



「第27回日本管楽合奏コンテスト全国大会」は11月20日、動画審査にて実施され、登米総合産業高吹奏楽部が15人以下で編成するS部門で優秀賞に輝いた。同校の全国大会出場は二年前、特別賞であるヤマハ賞を受賞して以来2度目の快挙。二年前も全国大会へ出場した千葉歩部長は「以前は先輩たちに連れていってもらったので、自分たちの代でまた出場することができてうれしい」と、喜びを語った。

吹奏楽コンクール県大会出場と管楽合奏コンテスト全国大会出場を目標に臨んだ今年、顧問の小松裕樹先生が強豪校を参考に取入れたのは、生徒たちの自主性を重んじることだった。「今年は積極的に意欲的に挑戦できる部員が多い。自分たちで考えて動けるメンバーがそろっている」と思い決断した」と小松先生は当時の心境を振り返る。

演奏のリーダーシップを執るコンサートマスターには2年の工藤風汰を指名。千葉部長は「人一倍音楽と向き合っていて、安心感がある。後輩だが、的確に指摘してくれる信頼できる存在」と太鼓判を押す。小松先生の思惑通り、生徒たちは工藤を中心に自分のすべきことをそれぞれで考え、練習に励んだ。演奏曲として選んだのは、二年前に同コ

ンテストでヤマハ賞を受賞したときと同じ作曲家・松下倫士氏が手掛けた「悲歌」能く道成寺の物語によるバラード。この曲は、女性が嫉妬心からへびになり、男性を殺してしまうという道成寺物語を元に、複雑な心境変化を表現した激しい展開が特徴の一曲。演奏で気を付けるべきポイント、気になったことなどはその都度楽譜に書き込む。メモで埋め尽くされた譜面は、部員たちのこれまでの努力を物語っていた。

全国大会へは、事前に行われる録音審査で出場枠を勝ち取る必要がある。部員一人一人が場面ごとの心情を想像し、演奏で表現する。コロナ禍で演奏する機会が少なくなっていた中、積み重ねてきた思いをテープに吹き込んだ。千葉部長が「かなり良い感じで表現できた」と自信を見せた演奏は、見事全国大会出場を決めた。全国大会は、感染症拡大防止のため、映像審査での開催。前回のヤマハ賞には及ばなかったものの、二年前よりも良い得点を獲得し、全国の舞台でも高評価を得た。

12月に開催されたアンサンブルコンテスト地区大会では、同校初の金賞を獲得。工藤新部長のもと同校吹奏楽部は、再び全国の舞台を目指す。

ときめき人

Tokimeki bito



古代米稲藁で 新年に66俵編み 土俵を守る

米山町・的場

柳渕 雄亮さん

やなぎぶち ゆうすけ
1929年生まれ 血液型/A B型

Profile

手先が器用で、多数の作業を自分でこなす92歳の雄亮さん。趣味は、庭の手入れや畑仕事。ターゲットゴルフをするのが楽しみ。



ながれかん ぜん
追土地地区にある流観世音の鳥居に飾るしめ縄を作り、雄亮さんは毎年奉納している

その昔、米山町の追土地地区ながれかん ぜんの流観世音には、相撲の土俵があった。今から遡ること3~4世代前の先人たちは、そこで相撲を取っていた。飛鳥未来きずな高等学校(旧米山高等学校)地内にも、相撲の土俵はあった。明治時代を生きた的場・追土地地区の先祖らは、土俵用俵を編み、土を入れ、新年に土俵の俵を入れ替え作業してきた。この土俵俵づくりの技術は、長年にわたり受け継がれていたが、1970年代に入り、相撲を取る若者がいなくなり、一度は土俵づくりも途絶えた。

道の駅米山ふるさとセンターY・Y前には、米山町中津山地区出身の丸山権太左衛門まるやま けんた(元大相撲力士で第3代横綱、本名=芳賀銀太夫)の偉業を称える銅像や土俵が設置されている。その土俵を守り、

新年を迎える1月に合わせ、雄亮さんは毎年66俵を編み続けている。俵のわらは、息子の亨さんが作った古代米を11月に稲刈り後、足踏み脱穀で脱穀したわらで作る。古代米の稲の長さが、俵にちょうどいい。出来た俵に米山相撲協会の会員が、育苗用の土を入れ、毎年土俵を掘りおこして俵を入れ替る作業を続け、いつでも相撲の大会ができるよう、土俵を守り続けている。雄亮さんは、昔自分で米俵を約400俵編んだ経験から、この俵づくりを始めた。このほか、地区の小学4年以上を対象に、正月に飾るしめ縄づくりを毎年12月に教えている。俵は縄で、全部で7カ所結っており「本場所同様に化粧俵、踏み俵もあり、そろえて整備されているのはとても珍しい」と雄亮さんは話す。

編集後記

▼「新田新駅舎完成」の記事の取材では、昔の写真の提供や当時の駅周辺の様子を教えてもらうなど、地域の人々からたくさんの協力をもらいました。「地元之宝」と胸を張れるものがあることと、そう思える地域の人々の愛情に、心が温まりました。(三浦)

▼市民の広場を取材しました。皆さんは「誰かのため役に立ちたい」、「心には心で」と見返りを期待しない物語思考があり、琴線きんせんに触れる(=感動や共鳴を与えること)機会が多いです。自他同然のギブ・アンド・ギブのあり方は幸せな生き方に通じる道との思いに駆られます。(高橋)

▼「学校給食への市産食材提供事業」を取材。別室に見童たちと同じメニューを準備していただき、登米市が全国に誇るだて正夢の新米と登米産牛を堪能しました。よみがえってきた自分が給食を食べていた頃の思い出と一緒に、31年ぶりの給食を噛み締めたいときでした。(佐々木)



登米市公式ホームページ

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止などの情報は市公式ホームページでお知らせしています。) <https://www.city.tomiyagi.jp/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。) <https://mail.cous.jp/tomecity/>

